

最近の取組み、課題

2017年10月

国立公文書館長
加藤 丈夫

1、最近の取組み

「国立公文書館の機能・施設の在り方等に関する調査検討会議」の御提言を踏まえながら、様々な業務に、積極的に取組み中。

そのうち、主要な事項を紹介。

(1) 利用促進

- ① 展示の充実
- ② デジタルアーカイブ等の充実

(2) 人材育成

- ① アーキビスト職務基準書検討
- ② 研修の充実 アーカイブズ研修IIIの見直し

(3) 積極収集

- ① 積極収集に係る検討状況

(4) 国際交流等

- ① オーストラリア国立公文書館所蔵日系企業記録の受入れ
- ② ベトナム国家記録アーカイブズ局との協力覚書の交換

(参考)「国立公文書館の機能・施設の在り方に関する基本構想」(抜粋)

2. 新たな国立公文書館についての基本的な考え方

(2) 新たな国立公文書館に求められる機能

- ・国内外に点在する歴史公文書等の積極的な収集や所在情報の集約・国民への提供を図る「**収集・情報提供機能**」
- ・憲法など国の重要な歴史公文書等を通じて若い世代も含めた国民が生きた歴史に親しみ学べる場を提供する「**展示・学習機能**」
- ・劣化が進む公文書の修復を行いつつ、歴史公文書等の原本を将来にわたって適切に保存する「**保存・修復機能**」
- ・国立公文書館等の利用者にとっての利便性を図り、歴史公文書等を活用した調査・研究活動を支援する「**調査・研究支援機能**」
- ・他機関と連携しつつインターネットの利用による歴史公文書等の公開を図る「**デジタルアーカイブ機能**」
- ・専門職員など公文書管理に関わる人材の養成体制や人材の充実を図る「**人材育成機能**」
- ・公文書をめぐる諸活動において関係機関の交流の拠点となるとともに、歴史公文書等やそれを保存する施設としての国立公文書館の重要性について広く伝える「**情報交流機能**」

(出典)「国立公文書館の機能・施設の在り方に関する基本構想」(平成28年3月31日
国立公文書館の機能・施設の在り方等に関する調査検討会議)2. (2)

(1) 利用促進

① 展示の充実

平成29年度も、更に、展示内容を充実、関連イベントも工夫



★10月7日(土)~

平成29年秋の特別展 | 日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念

日本とデンマーク

—文書でたどる交流の歴史—

Japan and Denmark: Valuable Records of the Historical Relations

平成29年10月7日(土)→11月5日(日) | 入場無料

- 期間中無休 ●開館時間(月~水・土・日曜日・祝日は、午前9時45分から午後5時30分まで)
- 本・金曜日: 午前9時45分から午後8時まで ●11月3日(祝・金)は、午後5時30分まで ●各日とも入場は、開館時刻の30分前まで
- 主催: 独立行政法人国立公文書館 デンマーク国立公文書館
- 共催: 外務省外交史料館 ●協賛: 読売新聞社 ●後援: 内閣府 デンマーク大使館
- 監修: 長島要一 (コペンハーゲン大学DNP特任教授 村井誠人 早稲田大学文学部教授)

日本・デンマーク友好通商航海条約(1867年)
デンマーク国立公文書館蔵

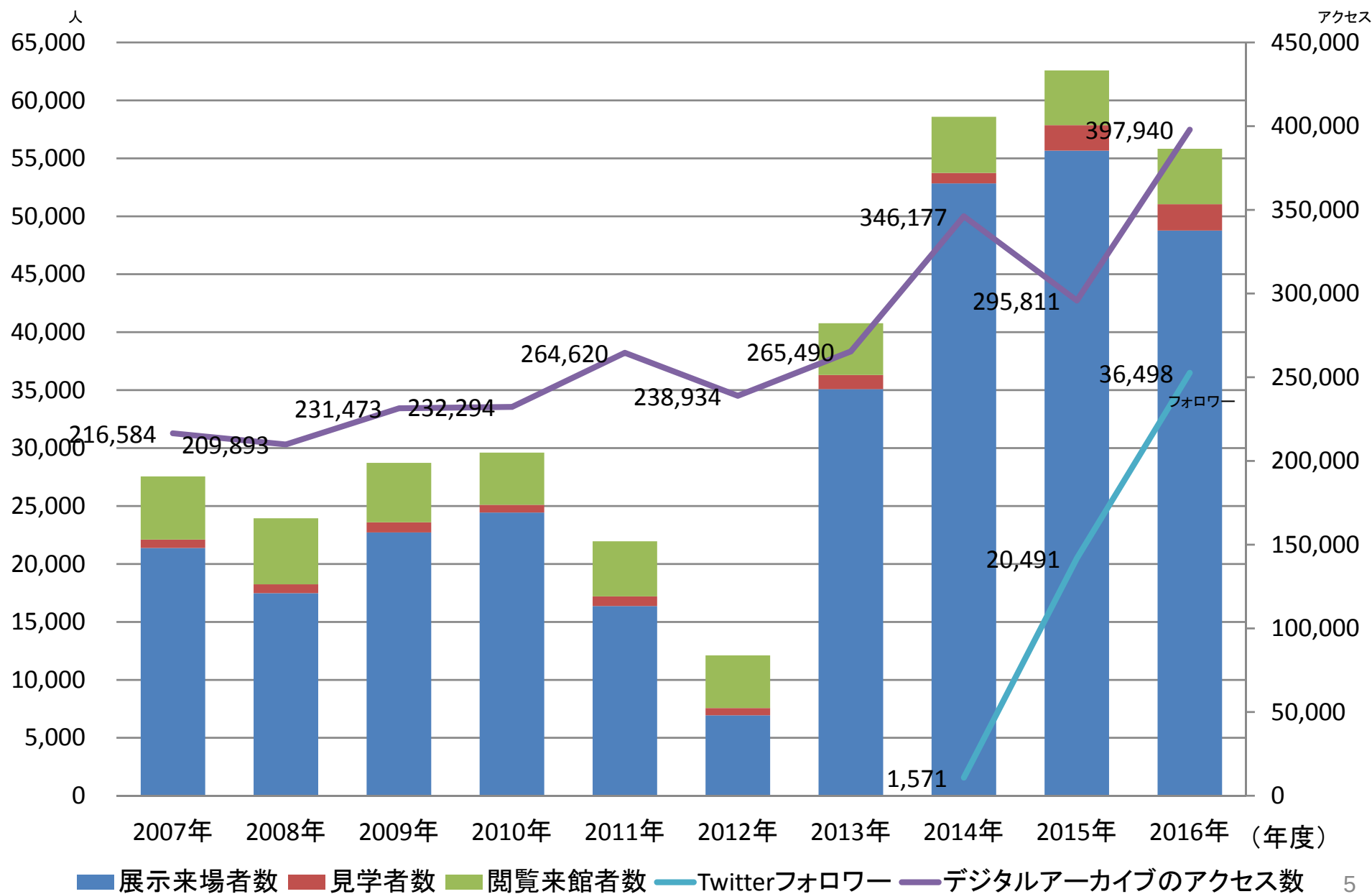
独立行政法人
国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

Japan

②デジタルアーカイブ等の充実

- 国立公文書館デジタルアーカイブの充実
館所蔵資料のデジタル化 15%(約21万冊) 平成29年度は4万冊
- アジア歴史資料センターデジタルアーカイブの充実
新たに、戦後資料のデジタル化に取り組む中
- 国立公文書館ホームページの充実
デジタル展示の充実
インターネット、ソーシャルメディア(Twitter)を取り入れた広報

(参考)～近年の利用者数の推移～



(2) 人材育成

アーキビストの職務基準書 ―課業の整理(案)―

① アーキビスト職務基準書検討

○アーキビスト像を明らかにするため、 職務分析を実施

- ・アーキビストに求められる能力や要件を分析
- ・「課業」ごとに、「知識」「技能」「経験」等を整理

○今後、分析結果を踏まえ、 アーキビスト職務基準書案を作成

職務	業務	課業
評価選別・収集	指導・助言	公文書管理に関する助言及び実地調査
		公文書管理に関する研修の企画・運営
		公文書管理に関する研修講師
		公文書管理に関する資料集作成
	評価選別	公文書等保存期間満了時の措置決定
		公文書等の廃棄時における評価選別
		公文書等の移管支援(独立行政法人)
		公文書等の協議による移管
		寄贈・寄託文書の受入れ判断
	受入れ	公文書等の受入れ
		公文書等の受入れ(電子文書)
		中間書庫への受入れ・管理
		寄贈・寄託文書の受入れ
保存整備	保存整理	公文書等の整理及び保存
		公文書等の保存(電子文書)

② 研修の充実 アーカイブズ研修Ⅲの見直し

受講希望者が、より受講し易くなるように仕組みを見直し(複数年度化、単位制)

従 来

- ・単年度での履修
- ・講義35科目＋論文
(60単位)

見 直 し 後

- ・最大3年度にまたがる分割履修が可能
- ・単位制を導入(1コマ90分=1単位)
- ・講義を必修・選択に分ける
- ・講義(48単位)＋論文で修了

(3)積極収集

①積極収集に係る検討状況

○平成29年度～平成30年度

- ・積極収集事業における課題検討のため、有識者による
「歴史資料等の積極収集に関する検討会議」を組織、着手
- ・当面の収集範囲と12の指標※(メルクマール)について検討
- ・収集対象の具体的検討
重点的に取り組む指標を選定
収集対象資料の検討、オーラルヒストリーの検討、資料購入の検討
- ・デジタル化収集に関するパイロット事業

他機関が所蔵する国の公文書やこれを補う情報が記載された資料の所在状況を把握。デジタル複製で入手し、その整理・保存・利用までの作業フローを確認・検証。

(参考例)大蔵省旧蔵史料筆写本

- ・三井文庫所蔵
- ・井上馨の伝記編纂のために三井家編纂分室が大蔵省に出向いて史料を筆写したもの。
- ・原本は関東大震災にて焼失。残っていれば、当館に保存されるべきもの。

※12の指標(メルクマール)

- ①文明開化とマスメディアの発展
- ②内閣制度の創設と展開
- ③大日本帝国憲法の制定
- ④日本国憲法の誕生と戦後改革
- ⑤戦没者の慰霊・追悼・慰藉
- ⑥エネルギー革命と資源政策
- ⑦政党政治の展開
- ⑧軍事的衝突・紛争
- ⑨自然災害・戦災と復興
- ⑩国土の開発
- ⑪行政改革と統治のかたち
- ⑫男女共同参画社会の誕生と展開



(4) 国際交流等

① オーストラリア国立公文書館所蔵日系企業記録

○ 資料概要

- ・1941年に豪州政府が接收した商社等の記録

・三菱商事、三井物産、日綿実業、横浜正金銀行、山下汽船、大倉商事、野澤組等全12社のオーストラリア国内支店
・帳簿、通信、財務文書、写真等の企業記録等

- ・約3,300箱、書架延長800メートル相当
- ・オーストラリア国立公文書館(NAA)からの寄贈申入れ

○ 寄贈に向けた作業等

- ・(平成28年度) 有識者を含む受入準備委員会を組織、着手
- ・(平成29年度上半期)

NAAと資料輸送に関する覚書を締結

資料の輸送準備、輸送後の一時保管場所を確保

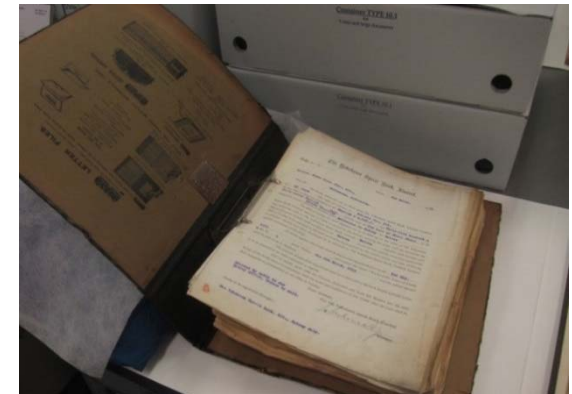
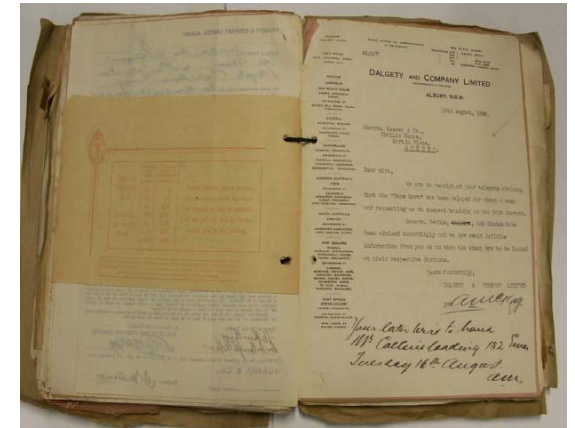
- ・(平成29年度下半期)

資料輸送、資料確認等の作業を実施

寄贈契約作成

○ 今後の予定

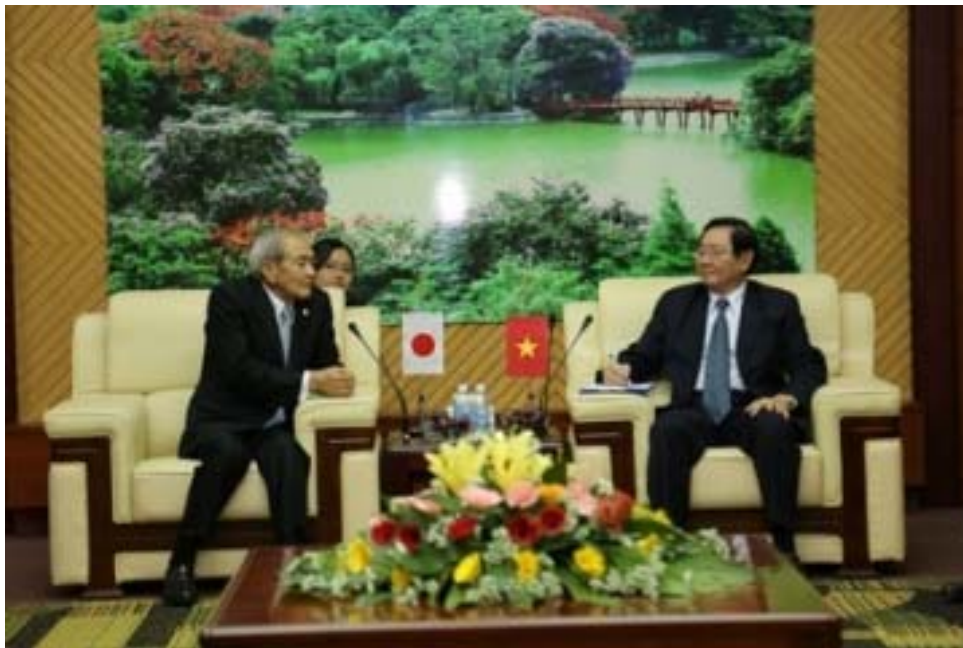
- ・平成30年度に、くん蒸、目録作成等の保存作業の後、一般利用を開始



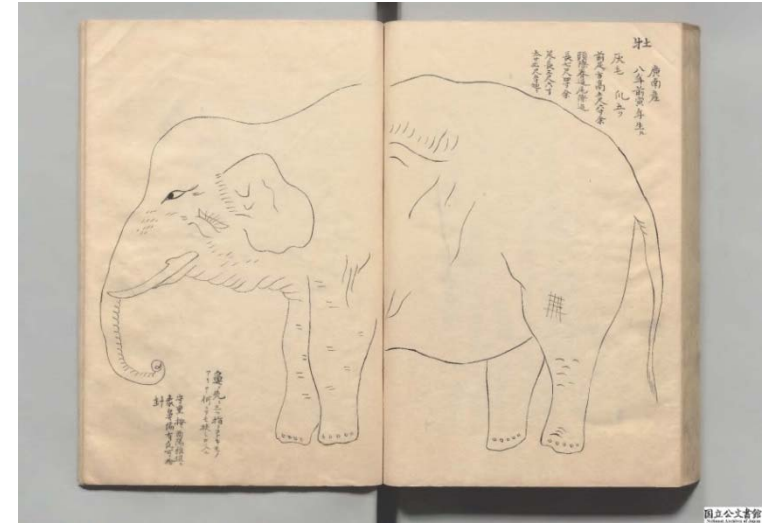
② ベトナム国家記録アーカイブズ局との協力覚書の交換

○平成29年9月

両国アーカイブズの交流、発展に向けて、ベトナム社会主義共和国国家記録アーカイブズ局との間で、アーカイブズ及び記録管理に係る協力覚書を交換



【レ・ビン・タン・ベトナム内務大臣を表敬訪問】
覚書交換や両国の外交関係樹立45周年等について意見交換



当館所蔵ベトナム関係資料の例
(『安南紀略藁』(あんなんきりゃくこう))



首都ハノイにおいて、ダン・タイン・トゥン・ベトナム局長との間で、協力覚書の交換

2、今後の課題

○積極収集

歴史公文書等を補完し、利用者の利用を促進、調査研究活動を支援

- 積極収集事業計画の検討、事業体制の整備
- 具体的な収集対象資料の検討、収集活動の展開

○人材育成

文書管理の専門家(アーキビスト)の養成

- 現在:30名 → 将来:150名
- 公的な資格制度の導入も視野に

○所蔵文書のデジタル化の推進

だれでも、いつでも、どこでも、自由に利用できる仕組みの構築

- 現在所蔵文書のデジタル化は15%
- ネットによる全国の公文書館との連携推進

○当面の書庫の確保

平成31年頃には、満杯となる見込み

- 受入れ文書量の増加を踏まえ、計画的に必要な書庫を確保

○新国立公文書館に向けた準備等

2017年4月に建設地が決定(国会前、憲政記念館敷地内)

「世界に誇る」新たな国立公文書館の早期着工、十分な施設・体制整備(内閣府と協力)

- 新館における業務等(展示・学習・研究支援・情報交流等)に関する検討
- 資料保存管理の仕組み(バーコード管理、資料管理システム導入)等検討
- 新館への資料の排架・輸送計画の検討